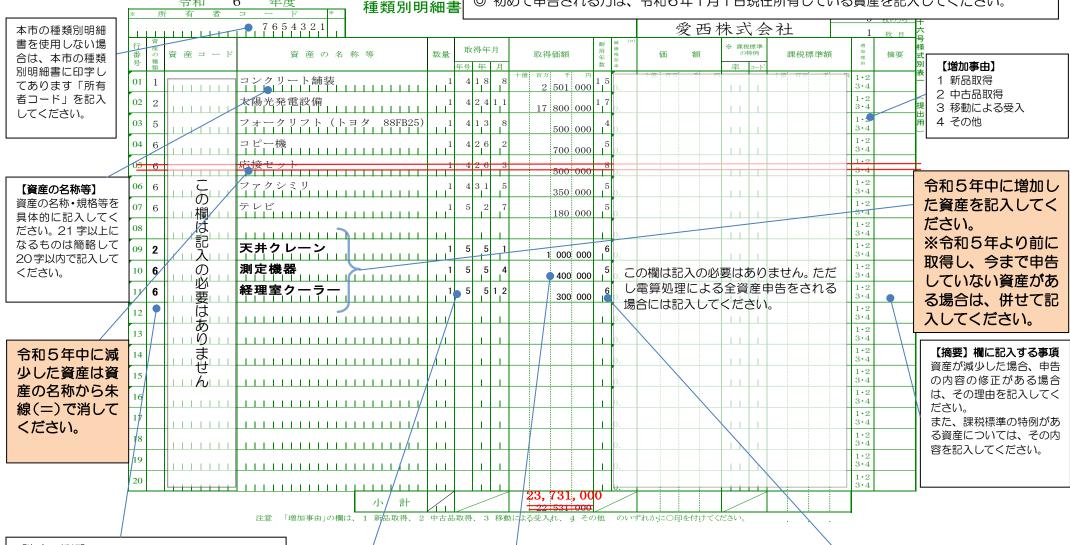
種類別明細書(増加資産・全資産用)の記入例

- ◎ この種類別明細書には、令和5年1月1日現在の所有資産が印字してありますので、令和5年1月2日から令和6年1月1日までに取得した資産、及び売却・滅失・移動等により減少した資産がある場合、又は印字内容に変更がある場合に記入してください。
- ◎ 初めて申告される方は、令和6年1月1日現在所有している資産を記入してください。



【資産の種類】

1…構築物・建物附属設備 4…航空機

2…機械及び装置 5…車両及び運搬具

3…船 舶 6…工具・器具及び備品

- ※ 文字は漢字・ひらがなも使用できます。
- ※ 電算処理用のデータとしますので、枠の中に丁寧にご記入ください。
- ※ 打出し内容に誤りがある場合には該当箇所を訂正してください。

【取得価額】

【取得年月(年号)】

3……昭和

4 ……平成

5 …… 令和

資産を取得するために要した費用を記入してください。

消費税の取り扱いは、法人税または所得税の会計処理において、税抜経 理方式を採用している場合は消費税を含まない金額となり、税込経理方 式を採用している場合は消費税を含んだ金額を記入してください。

圧縮記帳は地方税法上認められませんので圧縮前の取得価額を記入してください。

【耐用年数】

「減価償却資産の耐用年数に関する省令」別表第 1から第6(別表第3及び第4を除く)に掲げる 耐用年数を記入してください。